

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月3日

上場会社名 株式会社あみやき亭 上場取引所 東 名
コード番号 2753 URL https://www.amiyakitei.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 千々和 康 TEL 0568-32-8800
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月16日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	18,136	3.1	986	△26.9	1,035	△25.2	540	△34.0
2025年3月期中間期	17,584	10.0	1,348	42.5	1,383	41.7	819	52.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 540百万円（△34.0％） 2025年3月期中間期 819百万円（52.9％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	26.32	26.32
2025年3月期中間期	39.90	—

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	28,789	22,143	76.9
2025年3月期	27,810	21,941	78.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 22,141百万円 2025年3月期 21,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	51.00	—	17.00	—
2026年3月期	—	17.00			
2026年3月期（予想）			—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期期末の配当金は51円、年間配当金合計は102円であり、また、2026年3月期第2四半期末及び期末の配当金（予想）はそれぞれ51円であり、年間配当金合計は102円になります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	9.2	2,200	△16.6	2,300	△15.6	1,220	△29.7	59.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	20,546,400株	2025年3月期	20,546,400株
2026年3月期中間期	630株	2025年3月期	1,530株
2026年3月期中間期	20,545,470株	2025年3月期中間期	20,544,870株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間期の経営成績の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、米国の通商政策の影響が一部に見受けられるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策による下支えにより、緩やかな回復基調で推移しました。

一方で、通商政策の動向や物価上昇の長期化、金融資本市場の変動等による下押しリスクも残されており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

外食産業においては、好調なインバウンド需要等の一方で、原材料・物流コスト・人件費の上昇に加え、円安による輸入食材価格の高騰や継続的な物価上昇による消費者の節約志向の強まり等、依然として厳しい経営環境となっております。

このような事業環境のもと、当社グループは前期より差別化戦略の一環として導入した「和牛一頭買い」をさらに強化してまいりました。また、リニューアル店舗についてはお客様からご要望の多かったサラダバーの復活や、銘柄牛の専門店「松阪牛焼肉きらく本店」等のオープン等を実施し、確かな手ごたえを感じております。あわせて、創業三十周年を記念した各種販促施策を実施し、節目にふさわしい取り組みを進めてまいります。

しかしながら、期首からの継続的な原材料等の物価高騰や、人手不足等に起因した人件費・物流費等の高騰により増収減益となりました。

当社グループの出店戦略としては、2025年6月2日にクーデションカンパニー株式会社（以下、クーデション）の全株式を取得し、当社の未出店地域である関西圏（京都・大阪）への進出と基盤確立に取り組んでまいります。また、クーデションは自社セントラルキッチンを活用した精肉加工機能を有し、当社グループの業態・ビジネスモデルとの親和性も高いため、食材調達・オペレーションの共通化を通じてシナジーを創出し、グループ全体の持続的成長ならびに企業価値の一層の向上に寄与すると考えております。

店舗数につきましては、クーデションの新規連結による24店舗（焼肉事業9店舗、レストラン事業3店舗、その他事業12店舗）に加え、7店舗（レストラン事業6店舗、焼鳥事業1店舗）を新規出店し、5店舗（焼肉事業4店舗、レストラン事業1店舗）を業態変更し、1店舗（焼肉事業1店舗）を移転オープンしたほか、7店舗（焼肉事業5店舗、焼鳥事業2店舗）を撤退した結果、当中間連結会計期間末の店舗数は312店舗となりました。

なお、クーデションのみなし取得日が2025年8月31日となりますので、当中間期にはその損益は含んでおりません。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高18,136百万円（前年同期比3.1%増）となった一方で、物価高騰による原材料価格等の高止まり、人材確保難を背景とした人件費・物流費の増加、販促活動費の増加により、営業利益986百万円（前年同期比26.9%減）、経常利益1,035百万円（前年同期比25.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益540百万円（前年同期比34.0%減）となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、168店舗であります。

内訳は、「あみやき亭」87店舗、「あみやき亭PLUS」7店舗、「どんどん」6店舗、「ほるたん屋」13店舗、「スエヒロ館」20店舗、「かるび家」1店舗、「ブラックホール」4店舗、「ホルモン青木」8店舗、「ホルモンセンター」他11店舗、「百名山」1店舗、松阪牛焼肉「きらく」1店舗、「チファジャ」9店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当中間連結会計期間の売上高は、10,798百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、51店舗であります。

内訳は、「美濃路」36店舗、「みの路」7店舗、「もつしげ」8店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当中間連結会計期間の売上高は、1,958百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

<レストラン事業>

レストラン事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、69店舗であります。

内訳は、「感動の肉と米」51店舗、レストラン「スエヒロ館」14店舗、「グリルスエヒロ館」1店舗、ステーキ「正義」3店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当中間連結会計期間の売上高は4,635百万円（前年同期比28.6%増）となりました。

<その他の事業>

その他事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、24店舗であります。

内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、居酒屋「楽市」2店舗、寿司業態の「すしまみれ」2店舗、ダイニング1店舗、「とりとん」他4店舗、ラーメン「たかばし」11店舗、「肉のジャンボ市」1店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当中間連結会計期間の売上高は745百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産額は、28,789百万円となり、前連結会計年度末と比較し、978百万円増加しました。主な要因は土地の増加によるものです。

負債総額は、6,645百万円となり、前連結会計年度末と比較し、775百万円増加しました。主な要因は長期借入金の増加によるものです。

純資産額は、22,143百万円となり、前連結会計年度末と比較し、202百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月4日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年10月3日）公表いたしました「第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,483	8,087
預け金	368	368
売掛金	13	29
商品及び製品	106	131
原材料及び貯蔵品	1,068	621
未収入金	984	984
その他	295	428
流動資産合計	12,319	10,651
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,055	5,832
構築物(純額)	347	411
機械及び装置(純額)	330	347
車両運搬具(純額)	7	8
工具、器具及び備品(純額)	303	354
土地	3,009	4,004
建設仮勘定	16	7
有形固定資産合計	9,069	10,965
無形固定資産		
ソフトウェア	15	29
のれん	2,108	2,958
その他	9	9
無形固定資産合計	2,133	2,997
投資その他の資産		
長期貸付金	521	507
繰延税金資産	1,227	1,029
差入保証金	1,434	1,512
投資不動産	290	289
その他	813	835
投資その他の資産合計	4,287	4,175
固定資産合計	15,491	18,137
資産合計	27,810	28,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316	1,273
短期借入金	300	300
1年内償還予定の社債	30	15
1年内返済予定の長期借入金	104	176
未払金及び未払費用	1,403	1,539
未払法人税等	469	396
契約負債	133	178
賞与引当金	111	115
株主優待引当金	13	31
その他	528	682
流動負債合計	4,411	4,710
固定負債		
長期借入金	271	649
リース債務	606	618
退職給付に係る負債	7	8
資産除去債務	502	560
その他	70	98
固定負債合計	1,458	1,935
負債合計	5,869	6,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,427
利益剰余金	17,040	17,240
自己株式	△2	△0
株主資本合計	21,939	22,141
新株予約権	2	2
純資産合計	21,941	22,143
負債純資産合計	27,810	28,789

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	17,584	18,136
売上原価	6,708	7,297
売上総利益	10,876	10,839
販売費及び一般管理費	9,527	9,853
営業利益	1,348	986
営業外収益		
受取利息	5	13
受取賃貸料	17	17
協賛金収入	8	6
その他	8	16
営業外収益合計	40	54
営業外費用		
支払利息	2	1
匿名組合投資損失	1	0
不動産賃貸費用	1	1
その他	—	2
営業外費用合計	5	5
経常利益	1,383	1,035
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	8	0
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産除却損	28	18
減損損失	40	79
賃貸借契約解約損	—	1
その他	1	—
特別損失合計	70	100
税金等調整前中間純利益	1,321	935
法人税、住民税及び事業税	387	331
法人税等調整額	113	62
法人税等合計	501	394
中間純利益	819	540
親会社株主に帰属する中間純利益	819	540

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	819	540
中間包括利益	819	540
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	819	540

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。